

屋上を開閉式のタープで
BBQもできるスペースに

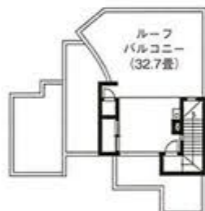
広い屋上では食事やパーティーを楽しめる。雨や日差しが強いときはタープを張って快適に。都心の住宅街にある1邸。高層ビル街が間近に見える夜景も美しい



開放感



3F



RF



1F



2F

1階は来客用、2階は家族用フロアで用途を分けた間取り
「大窓で開放感のある家が希望だったんです。ただ、外の視線が気になるようにセキュリティをしっかりとさせることも条件でした」
1邸は、そんな相反する条件の両立がポイントだった。解決のキーは中庭。家の外周の壁を高くし、その壁と居住空間との間に中庭を設けて採光と開放感を得る。結果、大開口の窓を設けつつプライバシーの確保にも成功した。
LDKや寝室、子ども部屋は2、3階。1階にはガレージと1さんの趣味部屋、ゲストルームを設けた。

た。車のレースが趣味の1さん、仲間との打ち合わせや語らいは基本的に1階で完結させる間取りに。「ゲストが来てても妻や子どもはリラックスして過ごせます」
好きなホテルの雰囲気も参考にしたい1さん。妻が気になったアンダーズ東京の内装と同じ芸術家の作品を装飾に取り入れた。開放感も間取りも装飾も。まさに理想に囲まれた1邸である。

DATA

家族構成 / 夫40代、妻40代、
長男10代、次男10代
延床面積 / 469.95㎡
設計 / アーネスト・アーキテクト

5.7mの壁を設け
外からの視線を遮断

高い外壁はセキュリティと外の視線を遮るために設置。中庭は椅子に座ってゆったりできる程度の広さは十分に確保した。夜は照明に照らされて優雅なムードに



1階のプライベート空間で
趣味を多様に楽しむ

エントランスには「アンダーズ東京」にもある芸術家・永田哲也さんの作品が(上)。その横が1さんの趣味部屋。ガレージのクルマも眺められる(下)

プライベート



セキュリティ用の外壁から
空が見えるよう設計

窓から目に入る外壁は、セキュリティを考え、当初もう少し高いイメージだったが、空が見えた方が気持ちいいという設計士のアドバイスで現在の高さになった



フロアごとに用途を分けて
家族みんなが心地よく暮らす

●東京都 | 邸